

自由律俳句

おおくさ編集室選

レンジでつるり衣かつぎ夫に供える 生山 渡辺 圭子
最後の小春日をさてと頭の中巡らす 茶屋 木山 輝子
師走の北風強く又しても尻込みする 茶屋 木山 操子
師走来て何かと気ぜわし独りの身 神戸上 柴田 篤子
死ぬまで句を愛した父の七回忌を静かに終える 茶屋 長谷川由美子
人恋う草の実払い短日のお日さま山に 茶屋 小林 道子
送る餅包む箱が継ぎはぎの料金節約術 茶屋 藤原 寿郎
晩秋の大山古道をまだいけると落葉ふみしめ 宝谷 長尾 智恵

俳句

駄句駄句会編集室

平癒祈り 梵焼仰ぐ 冬日和 萩原 岡本 健三
子が行きて 一人の食事 夜の寒し 宮内 田邊登志美
ぼつこりと 冬至南瓜の 出来上る 宮内 木村萬佐子
冬うらら 収穫済みて 畑に立つ 宮内 船越 裕子
カモの群れ うすき日ざしの 師走川 矢戸 和田 淑子
雪椿 デイの送迎 見てるかに 神戸上 笹間 玲子
しし親子 しつぽつないで 川わたり 萩原 金谷 松代
いのししも 手子して耕す 我ひとり 下石見 矢田貝 元

短歌

久々に会う孫たちの変わりよう
コロナが隔つ時の長さよ
オミクロン市中感染クラスター
コロナはびこり新語が続く
菩薩説く五蘊は全て空なれば
あらゆる苦厄救われるとぞ
湯河 山田 司郎

孫息子未来を開く挑戦に
人生掛ける共通テスト
大寒や軒のツララと綿帽子
残雪の空に輝きを増す
初打やはれやかに飾る御婦人の
化粧も乗ってゴールあざやか
下石見 浅川 三郎

大雪に歩道歩けぬ嘆く吾
待ちわびたるやノルディックウォーク
きさらぎの夜に落ちゆく白き雪
果てるともなく静かに積りぬ
ふくらしや松を採らむと山路を
師走の馳走に雪の降りたる
上石見 福田 輝之

人の動き (敬称略)

ご誕生おめでとうございます

氏名	届出人	住所
岸本 椿生	崇	茶屋

お悔やみ申し上げます

氏名	年齢	住所
柴原 都	83歳	上石見
長谷川 花子	94歳	花口
林 益榮	86歳	三栄
坪倉 百合子	90歳	笠木
宮本 秋子	91歳	菅沢
細田 義則	94歳	折渡
伊田 澄男	70歳	上石見
高柴 明子	77歳	阿毘縁
大原 喜久恵	76歳	阿毘縁
七田 和義	88歳	福塚

(令和3年12月16日~令和4年1月15日受付分)

■世帯 1,940 (- 5) ■人口 4,251 (- 15)
■男 2,024 (- 6) ■女 2,227 (- 9)

外国人を含めた世帯数と人口を掲載しています。
令和3年12月末日現在

「手話教室のお知らせ」

手の動きや顔の表情で意思を伝える手話。鳥取県では手話言語条例制定後、手話を見かける機会が増えています。日南町手話サークルでは、1ヶ月に2回のペースで基本的な手話の学習会を開催しています。手話に興味をお持ちの方は、一緒に手話を学んでみませんか。

2月の日程

冬の間はお休みします

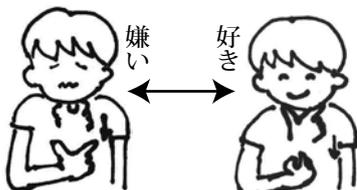
【お問い合わせ先】

石田由香里 (080030529933)
浅野 博美 (090097341887)

「バレンタインデー」



親指と4本の指を合わせて両手でハートの形を作るそのままに出す



親指と人差し指を閉じてのどにあて指を開きながら下げる

親指と人差し指を開いてのどにあて指を閉じながら下げる

「手話表現には、色々な表現方法があります。」

